

## 主題：命の木

### メッセージ 7

#### 命の木である主を食べ、命の路線において生きる

聖書・創 2:9. ヨハネ 1:4. 10:10 後半. 14:6 前半. I コリント 15:45 後半. II コリント 3:6.  
啓 2:7. 22:1-2

I. 命の木は、三一の神がキリストの中で人の命として食物の形において具体化されていることを表徴します——創2:9. ヨハネ1:4. 10:10後半. 14:6前半. I コリント 15:45後半. ヨハネ6:35, 57 :

- A. 神が人を命の木の前に置いたことは示していますが、神は人がご自身を有機的に食べ、ご自身を新陳代謝的に同化することによって、ご自身を命として受け入れることを欲していました。それは神が人の存在の構成要素そのものとなるためでした。
- B. 命の木が命の水の川の両側に沿って成長していることは、それがぶどうの木であることを示します。キリストはぶどうの木であり、命であるので、彼は命の木です——啓 2:7. 22:1-2. ヨハネ 15:1. 14:6 前半。
- C. キリストは肉体となること、十字架、復活を通して手順を経過しました。それは人が命を得、彼を食べることによって生きるためでした—— 10:10 後半. 6:51, 57, 63. イザヤ 7:14-15。

II. わたしたちは命の木、わたしたちの霊的な食物である主を以下の方法で食べることができます :

- A. わたしたちは主の言葉を食べることによって、彼を食べることができます。
  - 1. 「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出るすべての言葉によって生きる」——マタイ 4:4。
  - 2. 「あなたの言葉は、わたしのあごに何と甘いことでしょうか！ 蜜よりもわたしの口に甘いのです！」——詩 119:103。
  - 3. 「すると、彼はわたしに言われた、『人の子よ、あなたが見つかるものを食べなさい。この巻物を食べ、行って、イスラエルの家に語りなさい』。そこで、わたしが口を開くと、彼はわたしにその巻物を食べさせた。そして、彼はわたしに言われた、『人の子よ、わたしがあなたに与えているこの巻物で腹を養い、あなたの内側の各部分を満たしなさい』。わたしがそれを食べると、それはわたしの口に甘いこと蜜のようであった。彼はわたしに言われた、『人の子よ、イスラエルの家に行って、わたしの言葉を彼らに語りなさい』——エゼキエル 3:1-4。
  - 4. 「あなたの言葉が見いだされて、わたしはそれを食べました。あなたの言葉はわたしにとって、心の楽しみ、また喜びとなりました。エホバ、万軍の神よ、まことに、わたしは、あなたの御名によって呼ばれているのです」——エレミヤ 15:16。
  - 5. 「わたしを食べる者も、わたしのゆえに生きる。……命を与えるのはその霊である。肉は何の役にも立たない。わたしがあなたがたに語った言葉は霊であり、命

である」——ヨハネ 6:57, 63。

- B. わたしたちは、御父のみこころを行なって飢え渴いている人たちを満足させることによって、また地上で神・人の生活をするにおいて御父の栄光を現すことによって、彼を食べることができます——マタイ 24:45-47。
1. 「わたしの食物とは、わたしを遣わされた方のみこころを行ない、彼のみわぎを成し遂げることである」——ヨハネ 4:34。
  2. 「わたしは、あなたがわたしに行なわせようとして与えられたわぎを成し遂げて、地上であなたの栄光を現しました」—— 17:4. 参照、コロサイ 1:9-11。
- C. わたしたちは適切な人々と接触することによって、彼を食べることができます——レビ 11:1-3, 9, 13, 21。
1. 食べるとは、わたしたちの外側の事柄と接触して、それらをわたしたちの中へと受け入れて、その結果、それらが最終的にわたしたちの内なる構成となることです。
  2. レビ記第 11 章において、すべての動物は、さまざまな種類の人々を表徴し、食べることは、わたしたちが人々と接触することを表徴します——参照、使徒 10:9 後半-14, 27-29。
  3. 神の民は聖なる神によって要求される聖なる生活をするために、彼らが接触する人々の種類について注意しなければなりません——参照、レビ 11:46-47. I コリント 15:33. II コリント 6:14-18. II テモテ 2:22 :
    - a. ひづめが分かれていて、反芻する動物は (レビ 11:3. 参照、4-8, 26-28 節)、行動において識別があり (ピリピ 1:9-10)、多くの再考をもって神の言葉を受け入れる人を表徴します (詩 119:15)。
    - b. ひれとうろこを持つ水生動物は、この世で自由に行動し、活動して、同時にその影響に抵抗することができる人を表徴します (ひれは魚が水中で随意に行動し、活動するのを助けます。うろこは魚を保護し、魚が海中で生きて塩漬けにされることから守ります) ——レビ 11:9。
    - c. 飛ぶための翼を持ち、命の種を食物の供給として食べる鳥は、この世から離れ、超越した命の中で生き、行動することができ、命のものを命の供給とする人を表徴します—— 13 節。
    - d. 羽があって、足の上にももを持ち、地を跳びはねる昆虫は、この世を超越する命の中で生き行動することができ、自分自身をこの世から守ることができる人を表徴します—— 21-22 節。
- D. わたしたちは一の唯一の立場の上における集会の中で彼を大いに楽しむことによって、彼を食べることができます :
1. イスラエルの子たちは二つの方法で地の産物を享受することができました。一般的で、個人的な方法は、いつでも、どこでも、だれとでも共通の分け前としてそれを享受することでした (申 12:15)。特別な、団体の方法は、最高の分け前、すなわち、初穂と初子を、すべてのイスラエル人と共に、定められた祭りの時に、神によって選ばれた唯一の場所で享受することでした

(5-7, 17-18 節)。

2. 同様に、新約の信者たちがキリストを享受することには二つの面があります。いつでも、どこでもキリストを享受する、一般的で、個人的な面と、神によって選ばれた場所である一の唯一の立場の上での正当な召会生活の集会においてキリストの最高の分け前を享受する、特別な、団体の面です——コロサイ 1:12. I コリント 14:26。

Ⅲ. 命の木の原則は、神に依存する原則であり、命の路線において生きた人たちによって全聖書の至る所で実際化されています：

- A. アベルは神の方法で神と接触しました——創 4:4。
- B. セツとエノスは主の御名を呼び求めました—— 26 節。
- C. エノクは神と共に歩きました—— 5:22-24。
- D. ノアは神と共に歩き、神と共に働きました—— 6:8-9, 14。
- E. アブラハムは神の現れの中で生き、主の御名を呼び求めました——使徒 7:2. 創 12:7-8. 17:1. 18:1. ヤコブ 2:23。
- F. モーセは神の現れと、神の臨在の中で生きました——出 3:2, 16. 33:11, 13-15. 25:9。
- G. イスラエルの子たちは主の臨在の中で旅をしました—— 13:21-22. 民 14:14。
- H. ヨシュアは主の臨在の中で生き、働きました——ヨシュア 1:5-9。
- I. ギデオンは主の臨在の中で、主の臨在をもって戦いました——士 6:12, 16。
- J. サムエルは祈り、主の御名を呼び求めました——サムエル上 12:23. 15:11. 詩 99:6. エレミヤ 15:1。
- K. ダビデは神に信頼し、神を仰ぎ望み、神の命を享受しました——サムエル上 17:37, 45. 30:6. 詩 27:4, 8, 14. 36:8-9。
- L. ダニエルは絶えず祈り、絶え間なく徹底的に主に依り頼んで主と接触しました——ダニエル 2:17-23. 6:10-11. 9:2-4. 10:1-3, 12。
- M. 主イエスは御父のゆえに、命の木として、また神の御子として生きました——ヨハネ 6:57. 14:10。
- N. 新約の信者たちは主を食べることによって、また主の中で生きることによって、主のゆえに生きました。それは主が彼らの中で生きるためでした—— 6:57. 15:5。
- O. パウロは主を生かし出して、主を大きく表現しました——ガラテヤ 2:20. ピリピ 1:19-21 前半。
- P. キリストのからだとしての召会は、キリストに依り頼み、命としてのキリストによって生きます——エペソ 1:22-23. コロサイ 3:4。
- Q. 新エルサレムは命の木をもって、命の水の川によって維持されます——啓 22:1-2, 14, 17。